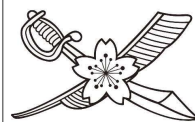


# 2023 開成祭開催



# 開物成務

高校2年生による開成祭のフィナーレを飾る創立120周年の人文字



2023開成祭が10月20日(金)、21日(土)の二日間、好天に恵まれた中で開催されました。昨年度は数年ぶりに人数制限なし、事前予約不要で開催され、特に21日(土)には大変多くの方の来場がありました。校内に入り目を引いたのがPOPや階段を利用した各種の案内表示で、盛り上げるための工夫と意気込みを感じることができます。

生徒達の取り組みも多彩でクラブ活動、各分野で行われている研究会やプロジェクトチームの教室を利用しての展示で

色鮮やかなPOPがお出迎え  
 動部のイベントや特設ステージでのパフォーマンスには大勢の人が集まり、体育館と徳間記念ホールでは、この日のために練習してきた演奏発表会など久しぶりの開成祭を来場者と

は、熱のこもった説明で来場者の気持ちを引き付けており、体験型のブースでは趣向を凝らした演出で大いに盛り上がっていました。

グラウンドを利用した運動部のイベントや特設ステージでのパフォーマンスには大勢の人が集まり、体育館と徳間記念ホールでは、この日のために練習してきた演奏発表会など久しぶりの開成祭を来場者と



### キッチンカーに並ぶ多くの人達

共に生徒達も演者として楽しんでいくようにしました。一部、演者として大いに楽しんでいる先生方もいらっしゃいました。

初めての試みとして、4軒のキッチンカーと、そのための食事スペースが設置され、どのキッチンカーにも行列が絶え間なく続いていました。



### 好評を得た校友会Cafe

他に休憩コーナーを初めて展開し、コーヒー、紅茶や小学生以下にはジュース、お菓子などを無料で提供しました。PTA賛助会の方々のご協力をいただき、想定を大きく上回

開成祭のファイナルは高校2年生による迫力満点のハカと120周年記念の人文字が披露されました。

・活躍するOB紹介  
 ・学校、生徒への支援活動  
 ・校友会の歴史と120周年事業報告  
 それぞれについてパネル展示と設置展示で紹介しました。

そんな中、校友会は海洋教育センターを会場として



### 校友会グッズの販売コーナー

る大勢の来場者に対応することができ、良い評価をいただきました。

また、例年設置している校友会グッズの販売コーナーでは120周年を記念して制作したTシャツとスウェット。校章を織り込んだネクタイとこの日のために作成したシャープボールペンなどをメインに販売を行い、こちらも大変好評を得て多くの方に購入いただきました。

この経験を次につなげ、開成祭への関りを充実させてまいります。



校友の皆様も今年の開成祭には是非とも足を運んでいただき、現役生徒の取り組みや校友会の展示を楽しんでください。

発行責任者  
 逗子開成学園校友会  
 〒249-8510  
 逗子市新宿2-5-1  
 逗子開成学園内  
 TEL.046(871)2062  
<https://z-kaisei.org/>  
 E-mail:info@z-kaisei.org

題字・逗子開成学園  
 元理事長 徳間康快氏

「開物成務」の由来  
 人間性を開拓・啓発し、  
 人としての務めをなす

# 新たな歴史のスタートへ



逗子開成学園校友会会長  
後藤 寿一  
(高19回)

明けましておめでとう  
ございます。校友の皆様  
におかれましては健やか  
に新年を迎えられたこと  
と御拝察いたします。

母校は昨年創立120  
周年という節目の年を迎  
え、今年新たな歴史の  
スタートとなります。校  
友会もI T委員会による  
会員名簿の整備も進み、  
又、ホームページを有効  
活用し、会員への有益な  
情報提供を行うことで会  
員増強に結び付く努力を  
しております。

人と人の繋がりを大事  
に色々な職業の人達と地  
域の方々を引き合わせ、  
相互に有意義な出会いを  
生かし、その先に地区会、  
体育会、文化部OB会を  
含めたオール逗子開成の  
組織に発展していくこと  
を切望しています。

今、我々を取り巻く環  
境は厳しいものがありま

すが、校友会の活動も、  
又、より流動的なものへ  
と変化しなければならな  
くなり、分業による専門  
分化した役割を担うこと  
が求められます。その上  
で、生徒達の支援はもと  
より、校友会が会員の皆  
様の精神的拠り所を与え  
られるような組織になる  
ことが理想であります。

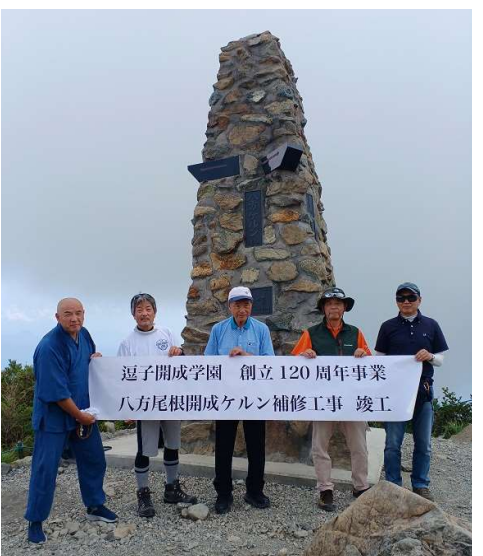
## 逗子開成学園創立120周年記念事業 八方尾根開成ケルン補修工事 竣工 2023年八方尾根慰霊登山

2016年より上野元  
教諭や坂田元教諭の協力  
を得て52会で実施してい  
る八方尾根慰霊登山です  
が、今回は逗子開成学園  
創立120周年記念事業  
で修復を終えた八方尾根  
開成ケルンの工事竣工の  
確認と御回向のための慰  
霊登山として学校からの  
命を受け、後藤校友会会  
長、坂田元教諭、小池隆  
興(僧侶・52会) 宇野(教  
諭・52会) 葉袋(52会)  
大須賀(52会) の6名で  
8月3、4、5日に実施  
しました。

初日の3日(木)は白  
馬村到着後、遺体発見場  
所を臨む南股川の二股  
橋、遺体を収容した白馬  
山岳遭難対策センター・  
遭難慰霊碑、亡くなられ  
た方々を供養していただ  
いた長谷寺を巡り、故人  
を偲び慰霊を行いました。  
その後白馬村役場を訪  
問し、修復作業の竣工と、  
一連の協力へのお礼の挨拶  
をしました。

最後に今回の修復工事  
を依頼した田中建設を訪  
問。田中建設では工室内  
容の写真をもとめた報告  
書をもとに説明を伺いま  
した。梅雨の時期ではあ  
りましたが、晴れ間が続  
いた期間を利用し一気に  
作業を進めることができ  
たとの報告がありました。

後日、後藤会長が写真  
をもとに専門家の意見を  
聞き、工事に問題ないこ  
とを確認し、工事完了と  
なりました。  
4日(金)は天気恵  
まれ、予定通りの時間  
で行動を開始、ゴンド  
ラトリフト2本を乗り  
継いで、八方池山荘前  
に到着。後藤校友会会  
長を先頭に登山を開  
始、木道を順調に進み  
開成ケルンの見える第  
二ケルン手前、テーブ  
ルのある場所で休憩。  
ここから見る開成ケル  
ンは八方尾根の景色の  
一部であり、登山者に  
とつての目印になってい  
ます。



遭難時にテントを設営  
していた第二ケルンから  
開成ケルンを眺めると当  
時の過酷な天候の状況に  
思いを馳せられます。  
ここから少々急な岩場  
を登ると開成ケルンに到  
着。早々に修復状況と  
竣工を確認。修復前と  
景色は変わっています  
が、すぐに周りと馴染  
むことでしよう。用意  
してきた竣工の幕を広  
げ記念撮影を行いました。

次は僧侶である小池  
隆興導師により御回向  
を執り行いました。小  
池導師の宗派である真  
言宗の様式にのっとり  
装具一式を準備してい  
ただき、ここに眠る6  
名の方々の慰霊と慰霊碑  
修復完了のためのお経を  
約1時間あげていただき  
ました。  
今後も開成ケルンが登  
山者の安全に寄与してい  
くことを祈念して慰霊登  
山を終えました。  
現地の八方尾根は自然  
環境が過酷な場所、そ  
こに建つ開成ケルンが受  
ける負荷も大きなもの  
です。そのため定期的な  
確認が必要で、今後も稲  
村ヶ崎のポート遭難碑と  
共に校友会や各年代のOB  
有志で慰霊し次代へつ  
ないでいきます。  
52会 大須賀 裕司  
(高29回)

逗子開成ケルンにて  
小池導師による御回向



# 千葉大樹先生 吹奏楽部顧問就任 20周年記念式典開催



吹奏楽部顧問の千葉大樹先生の就任20周年を記す

念した祝賀会が11月25日、横浜市中区のホテルメルパルク横浜で開かれた。千葉先生の指揮で「開成マーチ」の合奏も披露

され、OBや元顧問など75人が先生の20周年を祝い、さらなる活躍に向けエールを送った。

千葉先生は2003年、国立音楽大を卒業し新卒で逗子開成に着任した。吹奏楽部顧問となり

## 柔道部の活動

高校柔道部部长 三浦 悠月(2年)

皆さん、こんにちは。

現在の逗子開成中学校・高等学校の柔道部部长を務めております。三浦悠月と申します。この度、光栄にも、OBの先輩方から「開物成務」の記事に柔道部の活動内容についての執筆の機会を頂きました。

現在、柔道部は、高校生10人、中学生8人の合計18人で活動をしております。主な練習日は、月

曜、水曜、金曜と土曜日、そして日曜日には試合や他校への出稽古など、また、長期休みにも通常練習や試合、出稽古、校内合宿などを行っております。練習内容としては、寝技の研究、寝技乱取り、打ち込み、投げ込み、立ち乱取り、筋力トレーニングや体幹トレーニングなどをを行っています。我々柔道部の目標としては、団体とし

1928年の創部以来7代目の指揮者として指導を始めた。2006年には吹奏楽コンクールの関東代表の座をつかみ、同年から3年連続で東関東大会出場を果たした。教え子は現役生を含め200人を超える。祝賀会は教え子有志による実行委員会が主催。04〜23年卒(高56〜75回)に参加を募った。小西信行教頭や、いずれもこれまで母校音楽科の教壇に立った永野馨先生、和田まりい先生も来賓として駆け付けた。千葉先生と

の再会ほもちろん、OB同士も久しぶりの再会があり、旧交を深めた。記念品として、先生の指揮姿をシルエットにして刻印したタンブラーを贈呈。今後の活躍を、アルコールを燃料に駆け抜けてほしいとの願いを込めた。



ては、全国高校総体神奈川県予選、全国高校選手権神奈川県予選大会などでベスト8以内、個人としては、選手各々目標を持って日々練習に励んでいます。

また、本校柔道部は、柔道以外にも神奈川県高等学校相撲大会関東大会予選大会にも毎年出場しており、相撲部のOBの先輩方の御支援も受けながら、前回大会では関東大会に出場することが出来ました。普段から慣れないまわしを巻く作業には、相撲部OBの先

輩方も遠方からいらして一しします。柔道部の合宿の際には、スポーツドリンクの差し入れなどしていただいで、日頃からOBの先輩にはとても感謝しています。これからも、笠原先生のもとで柔道を練習し、日々励んでまいりますので、今後とも変わらぬ御支援、応援のほどをどうぞよろしくお願

の再会ほもちろん、OB同士も久しぶりの再会があり、旧交を深めた。記念品として、先生の指揮姿をシルエットにして刻印したタンブラーを贈呈。今後の活躍を、アルコールを燃料に駆け抜けてほしいとの願いを込めた。

先生の20年間を振り返る思い出ビデオも上映され、吹奏楽コンクールなどの映像や写真で足跡をたどった。幼い姿で映る部員はすっかりおじさんになった一方、20年間寮

千葉先生は、音楽科教員と吹奏楽部顧問という

立場について「成果が6年間で出るものではない」とした上で、「君たちの成長ぶりを実感できたことは決して間違っていない」と振り返った。

「みんなで祝賀会を作ってくれて本当にうれしく、ありがたい」と駆け付けたOBに感謝を伝え

た。また、28年に控える創部100周年に向け、「今日集まってくれたことがスタート。若手の君たちが盛り上げてくれることがすごく大事だと思う。今後も皆さんの力を貸して下さい」と呼び掛け、さらなる団結を呼び掛けた。

芳本 卓也(高63回)

### 横須賀会 令和5年度総会及び懇親会報告

昨年、母校逗子開成学園は創立120周年を迎え、校友会横須賀会は発足60年の記念の年を迎えました。

コロナも少し落ち着いた中、60周年を祝い会場も学生時に思いを馳せ、母校海洋教育センターで約50名の方に出席頂き令和5年6月10日、横須賀会総会・懇親会を行いました。

総会では第一号議案から第四号議案を審議した。

懇親会では第一号議案から第四号議案を審議した。

懇親会では第一号議案から第四号議案を審議した。

記念式典のDVDを映し、併せて校友会グッズの販売等も行われ、盛会に旧交・親睦を温める会となりました。

\*当日、来場の会員・来賓方には、横須賀会発足60周年を祝し記念品(タンブラー)を贈呈しました。(左の写真)

横須賀会会長 網倉 大介(高37回)

総会終了後、懇親会を午後3時30分より同会場にて開催しました。

懇親会場のスクリーンに、母校創立120周年

に、母校創立120周年



### 鎌倉会 令和5年度総会及び懇親会報告

鎌倉会総会は4年ぶりに当地区会に所属頂いている会員6人に出席いただき、開催時には恒例と

なっている鎌倉小町脇の中華料理店二葉荘にて行いました。

やはりコロナによる3年間のブランクの影響は大きいと思われる、毎年参加されていた方々の顔が見られなかったのが残念でした。

総会は榎引鎌倉会会長より令和4年度の事業及び決算と令和5年度事業計画及び収支予算案を報告し、それぞれが出席者全員の賛成により承認されました。



前段に榎引会長より、

本部常任幹事会で、今年度より従来行われていた各地区会総会開催時に他地区会会長の招待と母校招待をやることとし、

それぞれの関係者が出席されていないことの説明を行いました。

その後懇親会に移りました。ここで出席いただいた方々を紹介し、

写真右手前から奥に高5回の白井好之さん、同菅野仁さん、高20回小磯滋さん、写真左手前から高17回志村政俊さん、同榎引信明、高38回高柳亮

太朗さんです。

懇親会では、主に鎌倉会や会員の方々の動静、本部関係では地区会の統合や本部常任幹事会委員の若返り状況等の動静を話し合いました。最後に、白井さんと菅野さんは89歳ですが、大変お元気でしたことをお伝えしました。

### 湘南会 バーベキューイベントを開催

湘南会主催イベント・BBQ(バーベキュー)を9月23日(土・祝日)に藤沢で開催しました。

毎回楽しみにしていただいてこのイベントですが、ここ数年はコロナ禍により見送らざるを得ませんでした。やっと開催できた今回、多くの校友やご家族、友人の参加によりお楽しみいただきました。

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした

怪しい空模様でした



榎引 信明(高17回)

会員の皆様からいただいた校友会費は在校生への助成や支援に大変役立ちました。

期間	クラブ	大会/会場	助成金額
2023/6/10~11	柔道部	関東高等学校相撲大会 小瀬スポーツ公園武道館	20,000
2023/6/9~11	高校ヨット部	関東高等学校ヨット大会 葉山港ヨットハーバー	20,000
2022/7/21~23	高校水泳部	関東高等学校水泳競技大会 東京アクアティクスセンター	20,000
2023/8/12~16	高校ヨット部	全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会 和歌山セーリングセンター	30,000
2023/7/28~7/30	中学ヨット部	全国中学校ヨット選手権大会 稲毛ヨットハーバー	30,000
2023/10/21~10/22	高校陸上部	関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	20,000

留学生支援実績			
	留学先		支援金額
短期留学	ニュージーランド	14名	20,000円
長期留学	カナダ・オランダ	2名	30,000円
			60,000円

校友会記念品贈呈実績		
学年	内容	表彰品
中1	入学式	入学記念品
	持久走大会	メダル=1位・金/2位・銀/3位・銅
中2	ピフリバトル(本紹介ゲーム)	図書カード=1000円×8名(クラス代表者賞)各クラス
	持久走大会	メダル=1位・金/2位・銀/3位・銅
中3	レクレーションコンテスト(英語暗唱)	図書カード=1位3000円/2位2000円/3位1000円
	持久走大会	メダル=1位・金/2位・銀/3位・銅
高1	持久走大会	メダル=1位・金/2位・銀/3位・銅
高2	持久走大会	メダル=1位・金/2位・銀/3位・銅
高3	卒業式	卒業記念品

# 福島の地で 母校社会科学部をサポート

福島大学地域未来デザインセンター  
相双地域支援サテライト  
加賀谷 環 (高29回)

2年前の52会による八尾根慰霊登山の際に同期の宇野一成さん(逗子開成学園化学教諭)に学校として福島に関わる教育等を行っているか確認したところ、社会科学部が活動していることを知りました。その後、顧問

控えていたとのことでした。私からは、東京電力ホールディングス(株)を定年退職し、原子力事故により発生した除染による土壌を管理している会社に勤務していることを説明して、今後、福島での出会いを約束しておりました。

一行を常磐線双葉駅で出迎えました。その後もスケジュールの合間を縫って、生徒と先生に何度かお会いしました。その際に片山先生から学宿内容や学園祭で展示発表するため、サポートの依頼を受けました。10月に入ってから視察した施設のうち中間貯蔵施設について、オンラインで複数の質疑に応えました。その後、質疑を反映した資料が届き校正をした後、学

園祭に展示していただきました。福島の復興状況に関心を寄せていただける生徒と顧問の先生の要請にOBとして協力をさせて頂いたと思います。今後も協力要請をいただければ、支援を続けていきたいと思っております。



# 私にできたのだから君にもできる パリ音楽院教授の言葉

上野学園大学短期大学部教授・演奏家  
飯島 和久 (高29回)

皆さんお元気でお過ごしでしょうか?今年で65歳になりました。今の自分があるのは、もちろん逗子開成音楽部とフランス留学のおかげです。

逗子開成では本当にたくさんの先生や仲間にも恵まれ、そして助けられ、好きな音楽に全うすることが出来ました。そして留学しようとしたきっかけも逗子開成でした。

留学してから大きなショックがありました。それはパリ音楽院のアラン・マリオン先生に教えるを受けた時です。レッスンのたびに「私にできたのだから君にもできる」と話すのです。初めはパリ音楽院の先生にそんなこと言われてもピンと来なかったです。しかしあまりに毎回のよう話すので同門の友人に質問してみたら、「飯島くん知らないの?」と話し始めました。マリオン先生は今パリ音楽院の先生ですが自分は若い頃何度受けてもパリ音楽院に入学す

ることができず、生活のためトラックの運転手を10年間していたそうです。なんと休憩中、運動席で練習をしてレッスンに通ったそうです。その間にコンクールを44回受けて全て賞は取れなかったそうです。普通の人は3回も受ければ「自分はコンクールに向いていない」と諦めてしまうのですが、マリオン先生はコンクールを10年間受け続け、45回目に国際コンクールで1位なしの2位になりました。その後パリ管弦楽団の2番奏者、そしてフランス国立管弦楽団の1番奏者、そしてパリ音楽

院の教授になったので「これくらい苦労しているか?」と言いたかったのではないかと気が付きました。私は音楽を一度もやめたいとは思っていません。私には私にやるべきレベルがありませんが、テクニクや音でずっと悩んでいました。また、人生で大変なことがあっても「マリオン先生はもっと苦労している」と今でも励みになっています。

また、こんなこともありました。逗子開成を卒業してフランスに留学したため、同じ日本人留学生は日本の音楽大学を卒業している方ばかりで、演奏もさることながら話す内容もレベルが高すぎて、私の演奏も、知識もレベルが1番低いことが痛いほど分かりました。先輩から誘われてコンクールを受けてみたものの、もちろん惨敗でした。それでも諦めずに3年ほど受け続けていると、あるコンクールで一次予選を通過したのが日本人で私だけだったので、何かの間違いではないのかと疑ったのですが、先輩方から「とても良い演奏だったよ、上手になったね」と褒めてくれたのです。



最後にになりましたが、皆さまのこれからの活躍をお祈りいたします。

## おくやみ

- ご遺族や各地区会などから寄せられた訃報です。謹んでお知らせします。
- 森 国夫さん(38期)
- 奈良岡 正さん(41期)
- 風間 昇さん(高2回)
- 佐藤 武久さん(高4回)
- 大川 信幸さん(高9回)
- 棚橋 静雄さん(高9回)
- 藤沼 勝男さん(高10回)
- 安藤 康弘さん(高10回)
- 稲津 英利さん(高11回)
- 稲葉 英雄さん(高13回)
- 大場 進さん(高18回)
- 久保 省三さん(高18回)
- 船見 晃洋さん(高18回)
- 出川 政幸さん(高21回)
- 飯塚 貞三さん(高21回)

# 2023年度ゴルフ大会開催

2023年10月18日葉山国際CCエメラルドコースにて、2019年以来4年ぶりに開催しました。

参加者は以前から参加の高10回～高19回の校友とPTA・OBの方々31名と新規参加の高37回～高44回の方々8名の計39名で開催しました。

優勝はグロス79、ネット72で高16回小林淳一郎さんでした。

今回の特徴は前述の現役社会人の若い校友に参加頂いたことです。もともとコロナ規制明けの今年は大会開催を予定していたところ、総会開催時の懇親会にて若い方々より、是非参加したいとの申し出を受け賑やかな大会となりました。

その反面、以前からの参加者に連絡を取りましたが、亡くなられた方や体力的に参加を見合わせた方々もいました。以前は同期で2～3組を作り、組間の競技を行っていたこともありましたが、時の流れを痛感します。



このような状況ですので、従来は同期同士の組み合わせを基本としていましたが、今後も大会が継続できるように、そして若い方々に参加してもらえるように、次回開催より先輩と後輩が同組でプレーする方式に変えます。

ここで新規参加してくれました、高39回と41回のお二人の共通の感相を掲載します。

ここに新規参加してくれました、高39回と41回のお二人の共通の感相を掲載します。

- 一、先輩たちが元気なこと。
  - 二、先輩達のゴルフの上手なこと。勝ちたいとの目標ができた。
  - 三、打ち上げパーティーで感じたこと。先輩との垣根が低く、色々と言えた。
  - 四、高校生が沢山いたような笑顔が溢れていた。
  - 五、葉山国際CCからの賞品をはじめ参加者と校友会の母校創立120周年記念グッズの提供により大いに盛り上がり、家族への土産が嬉しかった。
  - 六、大会のアピール度が足りない。アピール度の高い情報を発信するとともに地区会でも発信してもらう。
- 新規参加者の方々も大会の楽しさを十分に感じてもらえた大会であると思います。
- 2024年も10月の1週間2週の水曜日に開催予定としますので、皆さまの参加をお待ちします。詳細は6月までにHPに掲載します。

ゴルフ部会長 櫛引 信明 (高17回)



|||||

## 校友 | ゆう・ゆう クロスナビ

校友は、あらゆる分野で活躍しています。その情報は校友会ホームページ(<http://z-kaisei.org/>)にこれまで会報に掲載した様々な業種で活躍する校友を紹介しています。「校友のやっている店、いる店を知りたい」「校友がやっている、いる病院を知りたい」「こんな時はどうすればいいのか?」…お店選び、日々の暮らしなどで迷った時に活用してください。ただし、割引や特典はそこに紹介している以外は、校友だからと過度な要求はご遠慮下さい。

### 日本の昔ばなし 株式会社トマソン

代表取締役 沼田かずみ(高22回)

ぼうやよいこだ、ねんねしな♪

まんが日本昔ばなし、この番組を見ながらよく仲間と麻雀をやっていました。

まさか自分がこの仕事に就くとは夢にも思いませんでした。僕は東北新社という映像制作会社に就職して、その時知り合ったのが、まんが日本昔ばなしの制作会社の社長の田代さんで、たまたま、材木座にY15と言うヨットを置いていて、乗りに来るたびに誘いを受けることになり、夏になると、いつも海にいました。



退職後にぼったり町で会い、この会社に就職することになり、アニメーションのプロデューサーとして十数年働きその後、独立してトマソンを設立したのです。当社はアニメーションとCGの制作会社ですが、アニメーションの関係で音響制作、絵本、CM制作などクリエイティブな仕事をやり続けています。

#### 仕事の紹介

- ・けものフレンズ2 アニメーション制作
- ・新潟アルビレックスマスコットアニメーション
- ・日本の昔ばなし絵本 (ポプラ社) (宝島出版)
- ・ふるさとほっこり村オープニングテーマ 水森かおり (徳間ジャパン)
- ・ふるさと再生 日本の昔ばなし (平成26年度児童福祉文化賞受賞)

- ・ふるさとめぐり日本の昔ばなし (平成29年度特別推薦児童福祉文化財)
  - ・日本財団、海の民話のまちプロジェクト (平成30年より令和5年に至る)
  - ・日本の昔ばなし MXTV
- こういう仕事は経済動向に左右されるので厳しい時もありますが、何もないところから作る喜びに興味を持ってはどうでしょうか? なかなか楽しいものです。
- 高校時代はクラスにヨット部の友達も多く、授業中もよく一緒に海をながめていました。体育の授業も浪子不動迄遠泳をしたり、とても海に馴染みのある教えがありました。
- 僕の逗子開成のイメージは「海」。開成に行かなければ今の仕事にも出会えなかったと思います。
- 長年昔ばなしを作っていられて、今はその恩返しのつもりで、布教活動もしています。昔ばなしには、社会で生きていくなかで大切な「感謝」や「助け合い」、ときに困難に立ち向かう「知恵」など、たくさんの先人の教えが込められているんです。
- 昔ばなしは「日本が誇る大切な文化」だと再認識しました。時代や価値観の変化が激しいこの時代だからこそ、老若男女問わず、日本の昔ばなしに触れて、忘れないでほしいのです。昨今はメディアも変わり見る機会も失われてきていますので、いまの時代に合わせてアプリやYou tubeで発信しています。

